

第21回

「伝える力」を鍛える②

株式会社川原経営総合センター 経営コンサルティング部門 久保田 真紀

今回は、考えた事柄をわかりやすく相手に伝えていくために必要な「説明力」についてご紹介します。説明力というと「話し上手」とイメージではありません。 言いを伝えるということは、シずしもそうではありことは、ことはいちんと聞き手に伝わることはいっための素材といくための素材となっていかなければなりません。

そのためには、内容の構成や伝えるべきポイントをきちんと整理してから説明することが大切です。整理する際に気を付けるポイントについて考えてみます。

例

A先輩「さっきのよくなかったよね。 連絡帳の意味わかる? クラ 担に教わった?」

B先輩「保育指針にも書いてあるけれど、子どもの発達過程に応じた適切な生活リスを作っていくためをでいるを作っていくためをでいるを作っていくためを変したの様子で換しまって換しまりである。渡す時の態とよりではクラス担当とよってみてね」

これは、ある保育所で、保護者に言葉がけなしに連絡帳を渡していた 新卒の新人職員に対して、2人の先 輩職員がかけた言葉です。「なぜ言葉 がけをする必要があるのか」という 視点から説明の構成を考えるととも に、伝えるべきポイントを整理して いく必要があります。

B先輩の言葉は一見とても丁寧に 説明しているようにも思えますが、 あらゆる情報を使って説明しようと しています。事柄を正確に伝えたい という思いからだとわかるのですが、 情報をちりばめ過ぎてしまうと、一 番大事な部分がよくわからなくな てしまうことがあります。 A 先輩同 様に主旨と構成を整えてから、添え

ご紹介したポイントを踏まえ、先ほどの事例はこのように

説明してみました。

【概要】「言葉がけなしに連絡帳を渡すのはよくないよ。なぜ言葉がけが必要か話しますね!

【背景】「連絡帳は子どもの成長を育むために必要な情報を、保育所と家庭が共有するためのものです」

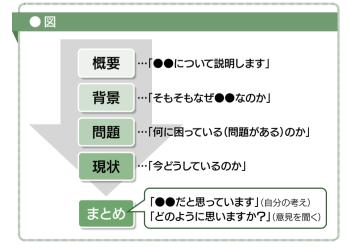
【問題】「子どもの1日の様子や気づいたことなどをできるだけ記入しているけれど、文字だけでは十分に伝えきれないこともあります」

【現状】「文字では足りない部分を補うために、言葉がけを積極的に行っています。保護者との信頼を築くきっかけとなるだけでなく、保護者の子育てに対する不安を和らげることにもつながっています」

【まとめ】「言葉がけを意識しながら 連絡帳を渡すことができるよう、 クラス担当の先生と相談してみて ください!

* * *

聞き手が思い(主旨)を理解し、 言葉や行動に結びつく説明ができる よう、しっかりと「伝える力」を鍛 えていきましょう。



プロフィール **Profile**

久保田 真紀(くぼた まき)

社会福祉士、保育士。都道府県社会福祉協議会にて、法人の経営基盤強化や施設の運営に向けた支援のほか、当事者活動支援、福祉教育にかかる業務に従事。現在は、㈱川原経営総合センターにて、法人・施設等の設立、運営支援、職場内環境改善に向けた調査分析などに携わる。